

🌸 ちゅうりっぷぐみ 🌸

4名の元気な赤ちゃんたちとスタートしたちゅうりっぷぐみ。ゆっくりミルクを飲んだり、抱っこやおんぶで寝たりしながら、徐々に保育園の生活に慣れていきました。室内では、保育者と玩具やボールで遊んだり、自分でお気に入りの物を持ってご機嫌で過ごしたりと、月齢に合わせて遊んでいます。



いっしょに遊ぼう



テラスでごろん



緩衝材を床に敷いて遊びました。上に乗って見たり、手で触ってみたいしていました。



外気浴・園庭散歩

天気の良い日には、ベビーカーや保育者と抱っこで園庭やテラスにでることがあります。園庭へ行くと、年上の友だちが「この子は誰?」「この赤ちゃんはどこから来たの?」などと質問をしてくれます。それまでぐずっていた子も、友だちがくると不思議と泣き止むこともあり、子どもたち同士の不思議なつながりを感じます。太陽や風、自然の空気に触れながら、外気浴や園庭散歩を楽しめるようにしていきたいと思います。



担当保育について

「食事、睡眠、排泄」この三点において、担当保育を行っています。特定の保育者が関わることで、安心感をもち、他者との信頼関係を築く基礎になっていきます。食事では、こちらが口に入れるのではなく、子どもたちがパクっとスプーンを含むスタイルで、「自分で食べている」感覚を大切にしています。睡眠は食後、お腹がいっぱいになると眠くなり、自然な流れで入眠します。排泄では「ズボン脱ぐよ」「オムツ脱ぐよ」「きれいになって気持ちいいね」と、一つ一つに言葉を添えながら、濡れて不快だったおしりが清潔で快適になる感覚を保っていきます。